

西國立志編

原名  
自助論

第四册

福岡第一師範學校  
(學校圖書)

卷第	號
部	門
部	部
項	項
冊	冊
號	號

全 11 冊  
分 冊 第 155.182

散原齋所顯  
 聖訓教  
 冊一  
 九



T1A1

22

N378 a.



a 1 3 8 0 3 2 2 0 7 4 a

福岡教育大学蔵書

自助論第四冊目録

第五編 自助即機會ヲ論ス及ビ學術ヲ勉修スルコトヲ

論ス

- ① 大功效ハ偶然撞着シテ得ルモノニ非ス
- ② 大人ハ小事ヲ藐忽ニセザル事
- ③ 牛董及ヒ雍ノ發明ハ偶然ト稱シガタシ
- ④ 觀察ニ聰慧ナルヲ智者ト稱スベシ
- ⑤ 加利列窩搖錘ヲ創造スル事
- ⑥ 伯拉温鐵懸橋ヲ造リ及ビ伯路涅爾爹迷士河底ノ地道ヲ造シ事
- ⑦ 哥倫布海藻ノ浮ルヲ視テ新世界ノ迹ヲ知ル事
- ⑧ 小事ノ力

自助論第四冊目録

九 弗蘭克林及ビ噶喇法尼電氣ノ理ヲ查出セシ事

十 吳士德蒸氣ノカアルヲ悟レシ事

十一 機會ヲ拿着シ機會ヲ造ル説

十二 有名ノ工人粗陋ナル器具ヲ用タリシ事

十三 李偶然ノ事ヨリ學ニ志セシ事

十四 斯東ノ名言

十五 斯格的何事ヲ爲ニモ機會ヲ看出セシ事

十六 普理斯上禮年四十始テ化學ニ志セシ事

十七 大未手ニ隨フ物ヲ器具トナシテ經驗ヲ做シ事

十八 發拉第偶然ノ事ヨリ化學ニ志セシ事

十九 大未ノ記簿ニ書載タリシ語

二十 古未耶偶然ノ事ヨリ本草學ヲ勉シシ事

二十一 瓦德士提反孫達爾東機會ヲ失ズレテ業ヲ勉シシ事

二十二 零碎ノ光陰集リテ極大ノ價值トナル事

二十三 名士零碎ノ光陰ヲ集テ大業ヲ成タル例ヲ舉グ

二十四 光陰ノ貴ブベキ事

二十五 古人著述ノ業ニ勞苦セシ事

二十六 筆録及ビ抄寫ノ益

二十七 戎翰他鈔録ヲ勤シ事及ビソノ他勉強ノ事

二十八 翰他物ノ定タル情形ヲ忽ニセズシテコレヲ熟察

セシ事

二十九 巴禮ノ事

三十 厚倍血ノ運行ヲ發明セシ事

三十一 日納爾牛痘ヲ發明セシ事

- ⑤ 白爾神經ノ理ヲ研究セシ事
- ⑥ 荷爾神經病ノソノ根ヲ肢體ヨリ發スルモノヲ發明ヒシ事
- ⑦ 黑爾舌新行星ヲ始テ看出シ事
- ⑧ 維廉斯密士察地學ニ長ゼシ事
- ⑨ 休彌爾列爾觀察ノ才アリシ事

⑤ 白爾神經ノ理ヲ研究セシ事

斯邁爾斯自助論 一名西國立志編

第五編 幫助即チ機會ヲ論ズ并ニ藝業ヲ勉修スルヲ論ズ

羅馬人ノ語ニ曰機會ハ機會ヲ生キタル人類ニモアリテソノ後面ハ秃セリ人モソノ前頭ノ髮ヲ捉拿スレバ彼ヲ抱住スルヲ得ベシ然ニ一タビ彼ヲシテ逃走セシメタランニハヂユヒター  
羅馬ノ名ト雖モ再ビ  
 彼ヲ擒獲スルヲ能ザルベシ

① 大功效ハ偶然撞着シテ得ルモノニ非ズ

偶然ノ事ハ生平勉強シテ成就セルモノニ比スレバ什分ニシテ一モアラス是故ニ僥倖シテソノ事ヲ善セント欲スルハ危キ道ナリ勉強シテ心ヲ用ルヲ實ニ旅行スベキ

Wilson

維氏英國  
人正德三  
年生天明  
二年没

平坦ノ通衢ナリ。山水ノ画工維爾孫ハソノ画ヲ作ルニ當リ。始ヨリ終ニ至マデ尋常ノ法則ニ從ケルガタツノ成就セントスルノ前ニ至リ。其画ヨリ退キ離レ筆ヲ長條ノ頭ニ定着シ久クソノ画ヲ注視セル後忽然トシテ進ミ二三箇ノ點染ヲ加フコトニ於テソノ功成就シテ神妙ノ画ト稱セラル。然レコレ人々ノ能做得ベキトニ非ズ。カクハ如キ活潑ナル手段ハ畢生ハ功カヲ用ルニ非レバ得ラルベカラズ。モレ拙工ヲレテカクノ如キトテ試ミナバ恐ハソノ画ヲ點忍シ看ルニ堪ザラレムベシ。

○ 大人ハ小事ヲ藐忽セズ

勤苦シテ心ヲ用ルハ。藝業ヲ修ル者ノ真成ノ方法ナリ。小事ヲ輕忽スルモハ。大人ニ非ズ。大人ハ小事ニ於テ最

\* Michael Angelo

安日洛文  
明六年生  
永祿七年  
歿

モ能心ヲ用テ修善スルモノナリ。彌開爾安日洛ハ意大利有名ノ雕像工。画工。建造工ナリ。嘗テ客アリテソノ工舖ニ來リ。ソノ一ノ石像ヲ造リ成タルヲ見タリシガソノ後客再ビ來リタルニ。安日洛ナホ嚮ノ石像ヲ修居タリ。客怪テ初度來訪セシ以來何ナル事ヲ爲レシヤト問ケレバ。安日洛ソノ像ヲ此彼ト指テ予コノ所ヲ再ビ修タリ。コノ所ヲ磋タリ。コトノ形ヲ柔ニシタリ。コトノ筋ヲ露セリ。コノ唇ニ言語ヲ與タリ。コノ手ユカヲ添タリトイヘバ。客曰ク。然ドモコレ皆瑣小ノ事ノミト。安日洛マ答テソレハ然モアルベシ。然ドモ瑣小ノ事ハ全美ノ功ヲ成ス。而シテ全美ノ功瑣小ノ事ナラスト云ヘリシトナリ。法國ノ画工屋格拉士保申平生ソノ爲トコロノ規則ニ凡ソ爲トコロノ

自効論第五編

事心ヲ盡シテ善コレヲ爲スト云リ。晚年ニ及テソノ友何ニ由テ君ハ善画ノ名ヲ得玉ヒシヤト。保申ニ問ケレバ。我ハ決シテ一事ヲモ輕忽ニセザリシ故ナリト答ケルトゾ。

③牛董及ヒ雍ノ發明ハ偶然ト稱シガタシ。

古ヨリ偶然ニ某ノ事ヲ發明セリト云フアリ。然レドモ子細ニコレヲ考レバ。實ニ偶然ナルトハ甚ダ少シ。蓋シ偶然ト云フハ。大抵ハ特ニ細心ヲ以テ考察セルモノ。一旦解悟スル機會ノ至ルモノナリ。牛董ノ足邊ニ菓實ノ墜タルトハ。人常ニ偶然發明スルトノ証據トナシテ。諸書ニ引用レド。ソノ實ハ然ラズ。牛董多年ノ間。久ク重力ノ事ヲ考究シ。勉強勞苦ヲ積タリケレバ。樹菓ノ目前ニ墜ルヲ見テ。忽チ能ソノ理ヲ悟リ得テ。前人未開ノ祕奧ヲ發セリ。コレト同

ク。石鹼ノ水ヨリ湧起スル泡沫ノ五色燦爛ナルヲ見テ。學士雍ハコレニ由テ光線斜行ノ理ヲ悟リ。凡ソ牛董雍ノ如キ大家ハ。世俗ニテ特ニ大事ヲ學習スルトハ。思フナレド。ソノ實ハ最モ目前陳腐ノ事。最モ平近ノ證ヨリシテ。極大緊要ノ理ヲ查出セリ。所謂大事ト稱スルモノハ。多ハソノ理ヲ善ク解説シ。小ヨリシテ推シテ大ニ至ルモノナリ。

④觀察ニ聰慧ナルヲ智者ト稱スベシ

人ニ智愚大小ノ異アルハ。大抵ハソノ事物ヲ觀察スルニ聰慧ナルト。聰慧ナラザルトニアリ。俄羅斯ノ諺ニ。彼人ハ樹林ノ中ニ行ドモ。薪ヲ見ズト云ルハ。觀察スルトヲ解セザル一種ノ人ヲ指テ言ルモノナリ。所羅門ノ往古以色列曰ク。智者ノ眼目ハ。ソノ頭ノ中ニ在リ。愚人ハ黑暗ノ中ニ行

加氏以太  
利人永祿  
七年生寬  
永十九年  
殺

\*Galileo

歩スト云リ。學士我孫嘗テ新ニ意太利ヨリ歸ル人ニ向テ。  
人或ハコノ舍伯斯的德ニ在テ。他人ノ歐羅巴ヲ巡遊スル  
モ、ハヨリ却テ多學ビ知ルモノアリト云リ。能物ヲ見ルハ  
眼目ノミニニアラス。心靈マタヨク物ヲ觀ル。是故ニ思想ナ  
キ人ノ一物ヲモ認得ザル地ニ於テ。智者ハツノ前ニ顯ハ  
ル、物ヲ觀察シ、ソノ根株ニ徹シ、仔細ニ分別シ比較シテ  
新意ヲ發スルコトナリ。イマ加利列窩伯拉温伯路涅爾哥  
倫布ノ事ヲ引テ。コレヲ證スベシ。

⑤加利列窩搖錘ヲ創造セシ事

加利列窩ヨリ以前ノ人ト雖モ懸タル物ノ同ジ速ニ搖擺  
スルヲ見タルモノ多アルベシ。然モコノ實事ノ用アルヲ  
ヲ查出セルモノハ。加利列窩ヲ始トス。加利列窩畢撒ノ寺

院ニ在テ。一日寺院ノ人。屋檐ニ掛ル燈ニ油ヲ添ケルガツ  
ノマ、ニ棄置ケレバ。燈ハ搖動シテ已ザリケリ。加利列窩  
コノ時僅ニ十八歳子。細ニコレヲ注視シケルガ。コレニ由  
テ遂ニ搖擺器ヲ用テ時ノ遲速ヲ測ルヲ得ベシト。心ニ想  
ヒ起セリ。然ドモ。コレヨリ後。五十年ノ勞苦學習ヲ經テ。ソ  
ノ搖擺器始テ十分ニ成就シテ。時限ヲ測リ。天文ヲ算スル  
必用ノ器トハナリニケリ。

加利列窩嘗テ和蘭ノ眼鏡ヲ造ル工人。隔遠ノ物ヲシテ近  
ク見セシムル一種ノ器ヲ新ニ造リ。納瑣ノ伯摩律西ニ獻  
ス。ト云フ。偶々聞レバ。ソノ理ヲ考察シテ。遂ニ千里鏡ヲ  
創造セリ。コレヨリシテ。星象ヲ明ニ察スルヲ得テ。今世  
天學ノ基礎ヲ立タリ。凡ソカクノ如キ發明ハ。心ヲ留ス。

\* Brown. † Brunel.

テ。物。ヲ。見。ル。人。及。ビ。心。ヲ。用。ス。シ。テ。言。ヲ。聞。ク。人。ニ。ハ。決。シ。テ。爲。得。ザ。ル。ナ。リ。

⑥ 伯拉温鐵懸橋ヲ造リ、及伯路涅爾參迷士河底ノ地

道ヲ造リシ事。

伯拉温ハ土維德英蘇ノ川間ニ傍近ニ住シケリ。費用多カ

ラスシテ橋ヲ架スベキ手段ヲ考ケル時一日拂曉ニ園中

ニ歩シケルガ偶小キ蜘蛛ノ糸ソノ行トコロノ路ニ當リ

テ。横ニ懸タルヲ見テ忽チ想起セルハ鐵繩或ハ鐵鎖ヲ以

テ。カクノ如キ方法ニ作りタラバ宜シカラントコレヨリ

シテ。遂ニ鐵懸橋ヲ造ルヲ得タリ。○瓦德嘗テ古來德國

ノ大河ヨリ管ヲ以テ水ヲ引上シテ考ケル時一日案上ニ

龍蝦ヲ薦メケレバコレヨリ新意ヲ發シソノ皮殼ニ倣ヒ

\* Columbus.

鐵管ヲ造リ遂ニソノ志ヲ達セリ。○伯路涅爾ノ參迷士河  
底ノ地道ヲ造ルハ船ヲ蠹蝕スル小蟲ヨリ教ヲ受タリ。  
嘗テコノ一小蟲ソノ強キ頭ヲ以テ船材中ニ百方鑽透シ。  
拱廊ノ如キ路ヲ成就シ。然後漆ノ如キモノヲ以テ四方上  
下ヲ塗リソノ中ニ住スルヲ觀タリケレバソノ式樣ニ倣  
ヒ。特ニ規模ヲ大ニシテ。遂ニ河底ノ地道ヲ造リソノ功ヲ  
成就シケリ。

⑦ 哥倫布海藻ノ浮ルヲ視テ新世界ノ近トヲ知シ事

慧眼ヲ以テ善ク物ヲ觀察スル人ハ些微ニシテ緊要ナラ

ザルガ如キ目前ノ物ヲシテ貴重ノ用トナサレムルナ

リ。哥倫布新世界ヲ查出セント志シ海ニ航シ西ニ向テ行

ケルガ久ニ及マデ土地ヲ見得ザリケレバ水手ノ輩糧食



\* Apollonius Pergaeus.

ノ盡一ヲ怕レ。哥倫布ニ背キ、棹ヲ返サント罵リ、驕ケルト  
 キ。哥倫布偶々船ニ近ク、海藻ノ浮流ル、ヲ見テ新世界ノ  
 既ニ近一ヲ知ル明證トナセリ。コレニテ至小ノ物能シ大  
 ハ用ヲ爲ス、ト見ルベシ。サレバ、天下ノ事物、至テ微小ナリ  
 ト雖モ、藐忽ニスベカラス。子細ニ解明シテ有用ノ實証ト  
 ナスベキナリ。嗚呼アルビランハ峭立セル白石巖ハ、沙虫ハ  
 白皴ヨリ成立タルモノナリ。ツノ沙虫ハ、顯微鏡ヲ以テセ  
 ザレハ、認得ル不能ス。珊瑚嶋ノ海ヲ飾ルモノハ、亦沙虫ニ  
 シテ、所謂珊瑚虫ト云ル無數ノ生物ノ、皴ナリ。極小ノ物ヨ  
 リシテ、かくハ如キ非常ノ結果ヲ成ス。ト觀ルトキハ、豈小  
 物ハ忽ニスベカザルト知ルニ足ラヤ。

⑧ 小事ノ力

小事ヲ精密ニ觀察スルトハ、職務ニ於テモ、學問藝術ニ於  
 テモ、人生各般ノ事ニ於テモ、功績ヲ奏スルノ秘訣ト云  
 ベシ。蓋シ世上ニ在ルコトハ、學識知見ハ古ヨリ今ニ至マ  
 テ、小々ナル實驗ハ土塊次第ニ積ミ重ナリテ、巨大ナル尖  
 塔ニ至ルモノナリ。縦ヒコレ等ノ小事始ニ於テハ無益ナル  
 ガ如クニ見ユレド、終リ至テ、眞實ノ益ヲ成シ、當然ノ用ニ應  
 スルトナリ。且此ノミナラス、億度思想ノ迂遠ナルガ如キ  
 モノモ、後來實用ノ根柢ト爲ルモノ多シ。紀元前二百年前  
 希臘ノ亞攆羅牛士、巴奇士ト云ルモノ始テ尖圓形ノ測法  
 ヲ查出セシモ、ツノ當時ニ在テハ、有用ナルトヲ覺ザリシ  
 ガ、後人コレヲ修明シ、天學ノ根柢トナリテ、今日航海スル  
 者ヲシテ、コレニ由テ、未ダ前知セザル洋海ニ進ミ往キ、天

自傳第五編

\* Franklin + Galvani

弗氏彌利  
堅人室永  
三年生寬  
政三年歿  
噶氏以太  
利人元文  
二年生寬  
政三年歿

上ヲ踪迹シ。路程ヲ錯ラズシテ。ワノ期スルトコロノ港ニ  
達スルヲ得セシムル最要ノ學術トハナリニケリ。

九 弗蘭克林及噶喇法居電氣ノ理ヲ查出セシ事

弗蘭克林電トイレクトリシテイ。電氣ノ物中ニ具トノ同一  
ナルヲ始テ發明シタル時。世人ニ笑レタリ。或人コノ發  
明何ノ用ヲ爲ヤト問ケレハ。弗氏對テ小兒ハ何ハ用ヲモ  
爲マシ。然ドモ後ニハ大人ト成ルナリト答レトナリ。噶喇  
法居偶死蛙。腿上ニ二種ノ金類ヲ置タレバ。跳躍シテ生ル  
ガ如クナルヲ見タリケルガ。コレニ由テ。二金交感ノ理ヲ  
發明セリ。カクノ如キ瑣々タル事ト雖也。後來遠人ノ意想  
ヲ通スル電氣通標ハ。コノ中ニ已ニ胚胎セシナリ。今ヨリ  
後多年ヲ經ズシテ。全地球ヲ帶ノ如シ環ルニ至ルベキナリ。

\* The Marquis of Worcester

サレバマタ地ヨリ穿出セル種々ノ石類ノ小屑ト雖也。善  
コレヲ鮮明スルニ由テ。地成ノ理ヲ察スル學科コレヨリ  
シテ生ジ。礦山ニ於テ工業ヲ做ノ實益トナリ。都邑コレニ  
由テ飾ヲ増シ。人民コレニ由テ工銀ヲ得テ。産業ヲ營モノ  
ソノ數甚多ニ至リ。

十 吳士德蒸氣ノカアルヲ悟シ事

今夫礦山ヨリ水ヲ抽出シ。工場ニ於テ人力ニ代ヘ。海陸ニ  
於テ舟車ヲ推進ル。巨大ノ機器ト雖也。ソノカノ自テ出ル  
トコロノ本ハ。特ニ滴水ノ熱ニヨリテ漲開シテ作用ヲ生  
スルニ過サルノミ。コノ事ハ。吾等毎日茶鑪ノ口ヨリ吹出  
スヲ見テ。最モ陳熟シタルヲナリ。然レ工妙ナル器中ニ塞  
住スルトキハ。許多ノ馬力ニ均キカヲ顯シ。波浪ヲ驅斥シ。

風風ヲ叱咤スルホドノ勢ヲ生スルナリ。且地球上ニ於テ火山温泉ノ發スル所以並ニ地震ノ起ル所以ハ、マ々特ニ自然ノ蒸氣力。地中ニ在テ作用ヲ生スルニ由リ相傳フ。吳士德獄ニ囚レシ時、偶一器ハ水ヲ煮ケルガ熱極ニ及テ、ソノ緊蓋吹落サル、ヲ見タルニ由テ、蒸氣ノ力アルヲ看出シタリト。吳士德後ニ一書ヲ著シ、ソノ發明考究セシヲ記シケルガ薩伐禮牛國、民等ニ及テ、コレヲ實用ニ試シ、牛氏蒸氣機器ト云ルモノヲ造出セリ。コノ様子藏シテ額拉斯哥ノ學校ニ在ケルガ、嘗テソノ脩復ノ事ヲ、瓦德ニ命ゼラレケリ。コノ偶然ノ事、瓦德ノ爲ニ好機會ト稱スベシ。コレニ由テ、瓦德一生ノ精カヲ盡テ、ソノ機器ヲ十分完全ニ至シメタリ。

①機會ヲ拿着シ機會ヲ造ル說

上ニ云ルモノ、如ク機會ヲ拿着シ、偶然ノ事ヲ實益ニ轉ズルトハ、成效ヲ得ベキ大祕事ナリ。學士戎孫ハ、人ノ英才ハ偶然一方ニ向タル大勢力ノ心ナリト云リ、凡ソ人自ラ爲トコロアラント欲シ、心意ヲ注バ、必ズ機會ヲ看出ベシ若者出ザレバ、自ラ機會ヲ造リ出テ得ベシ。然ル學校博物館等ノ藝術ノ盛ナル中ニアル人ニハ、カクノ如キ機會ヲ拿着スルヲ能ハズ、マ々有名ノ工匠及ビ新器ヲ創造スル人ハ、工事ノ學校ヨリ出ルモノナシ。蓋シ窮困ハ創造ノ母ナリ。故ニ古ヨリ、順便ノ地位ニ居人ヨリハ、窮困ノ人却テヨク大事ヲ成就スルヲナリ。

②有名ノ工人粗陋ナル器具ヲ用タリシ事

最モ有名ナル工人最モ粗陋平凡ナル器具ヲ用テ工事ヲ  
 試験セリ蓋シ工人ハ器具ニ頼テ成就スルニ非ズソノ自  
 己ノ習熟シタル才智ト忍耐ノ力ニ頼ルナリ故ニ拙工  
 ニ善器具ナク良工ニ惡器具ナシ巧拙ハ心手ニアリテ器  
 具ニアラザルナリサレバ或人嘗テ高比ニ向テ何等ノ  
 色料ヲ調和シテカ、ル光彩ヲ發スルヲ得ラレシヤト  
 問ケレバ我ハ吾腦ヲ以テ調和スルナリト答ケリ花俱孫  
 木ヲ以テ測時器ヲ造リシガ精巧ヲ究メヨク時ニ合リシ  
 カモソノコレヲ造ル器具ハ特ニ一箇ノ修筆刀ハミソレ  
 修筆刀ハ各人持トコロノ器具ナレトモ各人ミナ花俱孫  
 ニハアラザルナリ學士伯拉克ハ特ニ一鍋ノ水二箇ノ寒  
 暑表ニ由テ隱藏ノ熱ヲ始テ發明セリ牛董光ノ湊成スル

一及色ノ原因ヲ發明シタルモ別ニ奇器ニ由ニ非ズ特ニ  
 一箇ノ三稜玻璃片一箇ノ中凸玻璃片及ビ一枚ノ厚紙板  
 ノ外外國有名ノ學者某嘗テ學士售拉斯敦ニ詣リソノ許  
 多ノ發明ヲ爲ル器具ヲ藏セル書室ヲ示シ玉ヘト請ケレ  
 バ售拉斯敦諾シテソノ小室ニ導キ案上ニアルトコロノ  
 舊キ茶盆ノ中ニ表蓋ノ玻璃試験ノ紙小天平一吹火筒一  
 ヲ容タルモノヲ指サシテコレ我ハ有ルトコロノ器具ナ  
 リコノ外ニ有ルモノナシト言リ斯土打德ハ心ヲ留テ糊  
 蝶ハ翅ヲ學習スルニ由テ来色ヲ合スルノ法ヲ悟リ故  
 ニ毎ニ予ガコノ小蟲ヨリカヲ得タルトハ世ノ人知ラザル  
 ベシト言ケリ維爾啓ハ画ヲ學ケルトキ筆ナク布ナシ木  
 頭ヲ燒タルモノヲ以テ倉ノ門扇ニ圖ヲ画ガキタリト云

リ、白維克ハ、ソノ小舎ノ壁ニ白灰ヲ以テ圖ヲ画ガキテ學  
 習セリ。便若民。物斯的ハ、貓尾ヲ以テ筆ヲ作り、始テ画ヲ學  
 シトナリ。花俱孫ハ、天文ヲ學ニ、夜中一燈ヲ田野ニ布キ、自  
 ラソノ上ニ卧シ、小珠ヲ貫タル絲ヲ以テ、已ノ眼目ト星ト  
 ノ間ニ伸シ張テ、天象ヲ模寫シケルトナリ。弗蘭克林ハ、人  
 造ノ電氣ト、空中ノ雷電ト元來一物ナルヲ發明セシガ、  
 ソノ試験ノ爲ニ造リ紙鳶ハ、二枝ノ木條ト絹ハ手巾トヲ  
 以テ造リシナリ。瓦德ハ、剖屍家ノ用ル水筒ヲ以テ、蒸氣機器  
 ノ法子ヲ始テ造リト傳フ。及福德ハ、補鞋工ノ徒弟タリシ  
 時ニ、革ノ小屑ヲ打テ滑平ニシ、ソノ上ニ算學ノ問題ヲ始  
 テ作り、天學者立天好士ハ、鞆ノ柄ヲ以テ、始テ日月蝕ヲ測  
 算セシト云傳ヨリ。

李畧傳見  
 第三十一編  
 三十八章

Professor Lee.

Edmond Stone

⑤ 李偶然ノ事ヨリ學ニ志セシ事

最モ平常ナル事人ヲシテ學問ニ志サシムル機縁トナル  
 アリ。學士李ハ、偶一寺院モ會堂トニ於テ希伯來語ノ  
 觀タレバ、コレヲ學バント思ヒ起リ、コノ時李ハ、木工ニシ  
 テ椅子ヲ修復スルヲ業トセシナリ。然ドモ必スコノ語  
 ニ通ゼント思ヒシカバ、希伯來文法書ノ古本ヲ廉價ニテ買  
 ヒ、師傳ヲ假スシテ自ラ學習セシトナリ。

⑥ 斯東ノ名言

阿蓋爾ノ丟克如公爵ノ常ニ以徳門。斯東ノ貧キ園行ノ子ニ  
 シテ、算學ニ通シ、牛董ノ拉丁語ノブリレシピアヲ讀得シ  
 一ヲ怪ケルガ、一日ソノ故ヲ問ケレバ、斯東答テ、人ハタ  
 亞伯西二十四字ヲ知得ルヲ要ス、コレヨリシテ、各巴ノ

欲スルトコロニ從テ。世間何事ナリトモ學ビ得ラルベシト云リ。誠ニコノ言ノ如ク。既ニ二十四字ヲ知ラバ。其他ハ。勉強。忍耐。ト機會ヲ失ズシテ。進脩ノ益ヲ得ルトノ二者ヲ以テ成就ニ至ベキナリ。

⑤斯格的何事ヲ爲ニモ機會ヲ看出セシ事

窩爾打斯格的ハ。何事ヲ爲ニモ。自ラ進脩スルタメノ機會ヲ看出シ。又能偶然ノ事ヲ仔細ニ算計スル人ナリ。斯格的嘗テ一著書家ノ徒弟トナリシガ。期限盡テツノ家ヲ辭シ去ル時ニ。始テ蘇格蘭ヲ巡遊シ。兵亂ノ後生殘シ英雄ヲ尋訪シ。コレト朋好ヲ締ビ。ツヒニ後來著述ノ基礎ヲ立タリ。ツノ後。輕騎兵ノ衣糧官タリシトキ。馬ニ蹴ラレテ歩行スルノ能ハズ。家ニ卧シテアリケルガ。斯格的ハ懶惰ヲ惡ク

斯格的已見第四編十七章

Priestley

普氏英國人享保十八年生文  
化元年歿

讐敵ノ如クナレバ。コレヲ時トシテ。著書ニ從事セリ。三日ノ中ニゼ。レイ。ヲフゼ。ラスト。ミンストレルト云ル書ノ首卷ノ詩ヲ作り。ツノ後。幾何モナク功ヲ竟タリ。コレツノ大著述ノ最初ニ出シモノト云リ。

⑥普理斯士禮年四十始テ化學ニ志セシ事

學士普理斯士禮ハ。化學ノ大家ニシテ。許多ノ術氣ヲ查出セル人ナリ。始テ化學ヲ學ント志セシハ。偶然ノ事ヨリ導カレタリ。一日ソノ近隣ノ釀酒房ニ至リ。泡起シタル酒ノ上ニ。術氣ノ光ルモノ浮ミ流レテ。忽チ又消滅スルヲ見テ。奇ナル事ニ思ヒ。ツノ故ヲ知ント思ヒ起ケリ。コノ時普理斯士禮ハ。年四十二ニシテ。化學ハ事ハ毫モ知ラス。書冊ヲ檢索シタレド。ツノ故ヲ解スルノ能ハズ。コノニ於テ。已ノ意ニ從

Humphry Davy

大末英國人安永七年生文政十年歿

テ粗拙ナル器具ヲ造リ。經驗ヲ始メタリシガ。珍異ノ徵候現レケレバ。益々經驗ヲ積ミ。此ヨリ彼ニ移リ。幾何モナクシテ。氣ニ屬セル化學ニ精ク通スルニ至リ。○コノ時ニ當リ。普魯社國化學ノ大家舍勒マタ諸ノ新術氣ヲ查出セリ。然ドモ。ソノ器具ハ。特ニ尋常藥舗家ニアル玻璃瓶少數ト。猪ノ膀胱トヲ用タリシノミト云リ。

①大末手ニ隨フ物ヲ器具トナシテ。經驗ヲ做シ事

有名ノ化學家翰弗禮大末ハ。藥舗家ノ徒弟タリシ時。極テ粗雑ナル器械ヲ用テ。經試ノ功ヲ始メ。何物ニ限ラズ。手ニ隨フ物ヲ以テ器具トナシタリ。厨ニアル鍋釜ノ類。ソノ師ノ玻璃餅等ナリ。或時法國ノ船ゼ。ランス。エントニ於テ破壊セシトキ。ソノ船ニアリシ外科醫。ソノ器具ノ箱ヲ携テ。コノ

Faraday

大末英國人安永三年生

難ヲ逃シガ。コノ醫。偶大末ト親熟シケレバ。古様ノ水筒ヲ以テ。コレニ與ケリ。大末大ニ喜ビ。即チコレヲ用テ。抽氣筒ヲ作り。熟ノ性質。及ビ根因ヲ察スル器具トナセシトナリ。

②發拉第偶然ノ事ヨリ化學ニ志セシ事

學士發拉第ハ。大末ノ弟子ニシテ。ソノ學脉ヲ嗣ルモノナリ。始メ。釘書工ヲ爲シガ。コノ時ヨリ古キ玻璃樽ヲ用テ。電氣ノ經驗ヲ爲シ。始シト云リ。發拉第ノ化學ニ志セシハ。マタ偶然ノ事ニ由リ。ローヤル。インスチチエーション。學術ヲ講明ル大館。ノ社中ノ人。嘗テ發拉第ノ工作セル店舖ニ至ル時ニ。發氏ソノ釘裝センタメニ。已カ前ニ置ル。エンサイコロ。ペチアノ電氣ノ條ヲ注視シ。居タリ。客ソノ有志ヲ知り。ヤル。インスチチエーションニ人。ベキ周旋ヲ爲ケリ。發拉第ソレ

ヨリ四次大未ノ講説ヲ聞ケルガ盡クコレヲ記録シ。或時コレヲ大未ニ示シケレバ。大未甚ダ驚感セリ。ソノ後發拉第遂ニローヤルイニスタチチユーシヨノ佐史トナリ。コレヨリシテ學業次第ニ上進シ。遂ニ大未ニ繼ギ學士ノ職ニ陞ルニ至リ。

①大未ノ記簿ニ書載タリシ語

大未二十歳ノ時ソノ記簿ニ録セシ語。早ク已ニ後來有名ノ學士タルヲ徵スルニ足リ。曰余富饒ノ家ニ生レズ。又勢カノ家ニ生レズ。又門地ノ家ニ生レズ。然ドモ余若クノ世ニアル上ハ。必ず一世ノ爲朋友ノ爲ニ裨益ヲ爲トコノ三者ノ福蔭ニ藉シニハ減ビザルベシト記シケリ。大未ハ才能アルト發拉第ノ如シ。而メソノ心カヲ悉ク實驗ニ用ヒ。

勉強忍耐ニ因テ。高上ナル學術ノ地位ニ進リ。格列立地。大未ヲ評シテ。ソノ心ニ勢力アリテ凡百ノ疑義ヲ拿住シ。解破シテ。ソノ本然ノ効驗アルトニマデ推シ進リト云ヘリ。大未ハ格列立地ヲ評シテ。彼極高ノ才。極大ノ識。光明ノ心アリト雖。凡惜カナ。次序ニ循テ功夫ヲ用ルト。ヲ缺タリト言ケリ。

②古未耶偶然ノ事ヨリ本草學ヲ勉ル事

法國有名ノ本草家古未耶ハ。精密ニ觀察シ勉強ノ功ヲ積ル人ナリ。童子ノ時ニ。偶蒲豊ノ本草書一冊ヲ見タルヨリシテ。其志ヲ引動シ。遂ニコノ画ヲ寫シ。本文ノ説ニ從ヒ。彩色ヲ加テ學習セリ。十八歳ノ時。諾曼的ニ住スル一貴家ノ子ノ西賓トナル。ソノ居海邊ニ近ケレバ。水族百蟲ノ奇異

\*Cuvier.



ニシテ驚ベキモノ。常ニツノ面前ニ現レタリ。一日沙上ニ徘徊セシ時、烏賊魚ノ鱗ニ上ルモノヲ見タリシガ、ツノ状ノ新異ナルヲ以テ、携テ家ニ歸リ、解剖シテツノ内面ヲ察シケリ。コレヨリ生物ノ軟體ニシテ骨節ナクモ、ノヲ查究セシガ、コノ一科ニ於テ卓越ノ聲名ヲ得タリ。古未耶考證スベキ書冊アラズ。特ニ造化ノ大部ノ書ツノ前ニ開ルモノヲ觀察スルノミ、ツノハ毎日眉睫ニ接スル實物ノ詭形殊状ナルモノ、其心ニ深く印記スルヲ、世間鏤版ノ書ノ及ベキニ非ズ。カクノ如クニシテ、三年ヲ度ケルツノ間、水族ノ生物ト、近地ニ得ルトコロノ生物ノ化石セルモノト、比較シ、開剖シテ、熟視シケルガ、遂ニ前人ノ説ニ因ラズ、別ニ生物ノ種類ヲ分チ、後來革新ノ路ヲ開ケリ。古未耶ノ聲名次第二

高ク、一十八百年、政、院、大書ニ於テ本草

學士ニ任ゼラレ、後遂ニベロンノ爵ニ陞リ、主瓦德士提反孫達爾東機會ヲ失ズシテ業ヲ勉事

上ニ云ルトコロノモノヲ觀ルトキハ、偶然ノ機會ヨク人ヲ助ト雖、コレヲ要スルニ定志アリテ恒耐勉強ナルトハ、ヨク人ヲ助ルニハ及ザルトヲ見ルベシ。是故ニ柔弱ナル人、怠惰ナル人、及志向ナキ人ニハ、天幸ハ機縁ト雖、ハレテ裨益スルト能ハズ。カクノ如キ人ハ、機會ヲ知トテ會セザルガ故ニ、其ヲシテ徒ニ已ノ傍ヲ瞥然トシテ過去シムルトナリ。コレニ反シテ、人ノ常ニヨク機會ノ來ルモノヲ速ニ拿着シ、コレヲ以テ德ニ進ミ業ヲ脩メ、益トスルモノハ、ツノ成就スルトコロノ大ナルト、實ニ驚ベキナリ。瓦德

ハ、算具ヲ製スル工人ナリレ時、自ラ製煉學器械學ヲ學ケルガ、マタコノ時ニ瑞士ノ深工ヨリ日耳曼語ヲ學ビト云リ。士提反孫ハ、礦山ニ在テ器械ヲ運用シ作工ヲ爲シ時、夜間ニ算術及ビ測量術ヲ學ビ、白晝ト雖モ食時ニ當リ、瞬息ハ暇アレバ、白灰ハ屑ヲ以テ、煤炭ヲ運ブ車ハ傍ニ、數量ハ字ヲ書シタリトナリ、空中ノ現象ヲ論ズル學ノ大家ナル達爾東ノ勉強ナルコトハ、童子ノ時ヨリ癖習トナリタリ、僅ニ十二歳ノ時、ソノ小村ノ郷校ニ於テ童子師トナリ、冬ハ郷校ノ事ヲ主ドリ、夏ハソノ父ハ農功ヲ助ケ稼穡ニ従事セリ、世ヲ謝スル前一二日マデ、空中ノ現象ヲ觀察シ、經驗ヲ爲シガ、ソノ一生ノ間、記録スルトコロノ現象、二十萬數ノ上ニ踰タリ。

\*Mason Good.

⑤ 零碎ノ光陰集リテ極大ノ價值トナル事

蓋シ人恒久ニシテ息ザレバ、零細ノ光陰、造次ノ時節ト雖、後來湊合シテ絶大ノ效驗ヲ顯スコトナリ。人毎日一時ノ間、緊要ナラザル事ヲ息去テ、コレヲ利益アルヤウニ用ナバ、平常ノ資性ノ人ト雖モ、必ズ一學科ニ長ズルニ至ルベシ。毎日一時、ハ勉強シ積テ十年ニ至ル、愚昧ハ人化シテ聰明ハ人トナルベシ。是故ニ光陰ヲシテ菓實ヲ生ゼズレテ、空ク過シムルコトナカレ、必ズコレヲ用テ、或ハ善根抵ヲ養ヒ、或ハ善慣習ヲ長ズベキコトナリ。

⑥ 名士零碎ノ光陰ヲ集テ大業ヲ成タル例ヲ舉グ

醫家馬孫具徳ハ、許多ノ書ヲ著セシガ、ソノ翻譯セルラクレチユース、羅馬詩ノ詩集ハ、倫敦ノ病家ヲ巡リ訪ケル時、車ニ

*Kirke White † Darwin  
‡ Daguesseau. § Hale † Burney.*

*Elihu Burritt.*

乗ル間ニ少ヅ、草稿ヲ屬セルモノナリ。醫家達爾寅マタ  
 病家ヲ看訪スル時、途中常ニ小紙ヲ持シ、サルキーノ小車ニ乗  
 ナガラソノ考思ノ事ヲ録セリ。平生ノ著述ハ、皆コノ片紙  
 ノ集レルモノナリ。按察司海爾ハ、國中ヲ巡視旅行スル間  
 ニ、コンテムプレーシヨニス名書ヲ作り。○樂師培居ハ、馬ニ乗り、旅行  
 スル間ニ、意大利語、法蘭西語ヲ學ビ、ソノ門生ノ中ニ、コノ  
 二國ノ語ヲ知ルモノアレバ、誰彼ヲ問、ズシテ、コレヨリ教ヲ  
 受シト云リ。詩家加ク淮的ハ、狀師館ニ往來スル途中ニ、ア  
 ル間ニ、希臘語ヲ學ビ、善コレニ通ズルニ至リ。現今崇高ノ  
 位ニ居レル人アリ、昔シ滿遮士打ニ在テ、使喚人トナレル  
 時、ソノ使トナリ、道路ヲ往來スル間ニ、拉丁語、法蘭西語ヲ  
 學ビ、シトナリ。法國ノ尚書達凱肖ハ、食時ニ當リ、等候スル間

斷アルゴトニ、筆ヲ執ケルガ、大冊子ノ著述ヲ爲ニ至リ。夫  
 人然律士ハ、毎日法國ノ公主ニ伺候シ、教授スル間ニ、ソノ  
 絶妙ナル文辭ノ書數種ヲ皆セリ。以律休、拔律的ハ、亞墨利  
 加ノ語學家ナリ。自ら予ハ不才ノ人ナリ、ソノ進脩ノ益ヲ  
 受タルトハ、特ニ零碎ハ、光陰ヲ謹テ用タリシニ由リト云  
 リ。拔氏ハ、打鐵匠トナリテ、家業ヲ爲シ、間ニ、古今十八種ノ  
 言語及ビ歐羅巴二十二國ノ方言ヲ次第ニ學ビ、悉コレニ  
 通ズルニ至リ。

⊖ 光陰ノ貴ブベキ事

向オックスフォード斯福ノヲールソールス、ユルレーヂノ學院ノ日暮ノ上ニ題スル  
 語ニ、時辰ハ滅亡ス。而メ人ニ托メ、ソノ債ヲ負シム。歳月待  
 レタズシテ消滅ス。功課ツ子ニ後テ及バズ。遂ニ一職事ヲ成就スル  
 爲ベキノ功課ツ子ニ後テ及バズ。遂ニ一職事ヲ成就スル

自力命篇五篇

\* Melancton

墨氏日耳  
曼人與路  
暢為友明  
應六年生  
永祿三年  
歿

トコロナクレト云ルハ誠ニ少年ヲ戒ル的切ノ訓言ト稱  
スベシ蓋シ光陰ハ人ニ屬スルニテ永遠無疆ノ小片  
ニ過ザルノミ而メ人生ト同ク已ニ過タルモノハ復喚回  
ス可能ザルモノナリ故ニ咽各士打ノ若克孫ハ世上ノ財  
貨ハ空ク消散スト雖モ後日ノ儉約ニ由テコレヲ償フヲ  
得ベシ然モ誰カ能ク今日失トコロノ光陰ヲ明日ヨリ取  
得ルモノアランヤト云ケリ墨蘭古敦ハ自ラ失シ光陰ヲ  
冊子ニ記シ他時勉強シテ補償シ務テ一時タリトモ虚ク  
度ザランコトヲ期セリ一ノ意太利ノ學士ツノ門ニ書シテ  
誰ニテモ吾家ニ來ンモノハ我ト共ニ勉強勞苦スベシト  
云リ或人數名嘗テ有名ノ上帝道學士拔克士他ノ家ヲ訪  
レトキ拔氏ニ向テ吾等君ヲシテ光陰ヲ費サシメタリト

Gibbon. Addison.

關氏英國  
人文章之  
妙冠絕於  
古今寬政  
九年歿

曰ケレバ拔氏實ニ然リ若輩吾光陰ヲ妨タリト答ケリ光  
陰ハ産業ナリ光陰ニ由テ大人豪傑工夫ヲ積ミ或ハ大功  
ヲ立テ或ハ好書ヲ著シテ無數ノ恩惠ヲ後人ニ貽ルコトナ  
リ  
⑤ 古人著述ノ業ニ勞苦セシ事  
凡人特ニ勞苦ハ功程ニ由テ非常ノ業ヲ成就スルコトナリ  
關氏孫ハスペクテトルヲ著セル前ニ三大冊ノ寫本ヲ材  
料ノ爲ニ蓄タリ牛董ハツノコロロヂイヲ撰セシガ十五次  
草藁ヲ換タリ吉本ハツノメモアル備忘録トヲ九次草稿ヲ  
屬シタリ海爾ハ多年ノ間毎日十六時法律ヲ學タリ意倦  
トキハ理學算術ヲ學ビ精神ヲ再造セリト云リ林檎ハヒス  
トリーヲフイングランド英國ヲ著セル時一日十三時ノ間コレニ

自見言身三編

從事セリ。孟得斯答嘗ソノ著書ノ一分ヲ一友ニ示テ足下  
ハコレヲ暫時ノ間ニ讀畢ルベシ然レ予コノ撰著ニ勞苦  
セシト頭髮ヲシテ雪白ナラシメタリト云シトナリ。

⑤ 筆録及ビ抄寫ノ益

考察ノ理實歷ノ事ヲ筆録シテ遺忘ニ備ルハ詳慎ニシテ  
學ヲ好ム人ノ爲トコロナリ。勞爾德倍根ハ許多ノ寫本ヲ  
遺セリ。題シテリッテン。ソウツ。セツト。フラス。ユース。忽然思出スコヲ  
録シテ需用ニ備フトイヘリ。亞斯金ハ拔爾克ノ著書ヲ多  
抄録シタリ。意爾同ハ。コータアポソリットルン。律的爾敦注釋哥  
克律法書ヲ二回自ラ寫タレバ。コノ書己ノ心ヨリ出レ如  
ナリ。○上帝道學士拜斯密士ハ其父釘書工ナリ  
レ故父ニ從テコノ業ヲ爲ル間ニ許多ノ書ヲ讀ミ許多ノ

John Hunter.

翰他英國  
人天明三  
年歿

鈔録ヲ爲シ批評ヲ書シタリ。ソノ傳ヲ作モノコレヲ賛シ  
テ時トシテ工夫ヲ用ザルトナク時トシテ進歩セザル  
ナク時トシテ貯積セザルトナシト云リ。

⑥ 戒翰他鈔録ヲ勸シ事及ビソノ他勉強ノ事

翰他ハ最モ勸テ鈔録ヲ爲シ記性ノ不足ヲ補シ人ナリ。常  
ニ自ラ鈔書ノ益ヲ言テ鈔録ハ恰モ商人ノ本錢ヲ簿冊ニ  
載ルガ如シ。若コレナカリセバ幾許ノ利ヲ得タルモ幾  
許ノ損ヲ受ルモ知ザルベシト云リ。翰他物ヲ觀察スル  
ト靈捷銳敏ナリシ故亞白尼西常ニコレヲアルガス。古代怪  
像百目ヲ具ノ眼ニ比セリ。然レ其實ハ忍耐勉強ニ由テ才  
カヲ長ゼシナリ。翰他二十歳ノ時ニ至マテ教ヲ受タル  
ナシ。數年ノ間額拉斯哥ニ在テ木工ノ業ヲ爲シガ其後倫

敦ニ至リ、其兄維廉ニ從テリ、維廉ハ剖屍ノ術ヲ學ル人ナリシガ、幾何モナクシテ翰他コレニ超過セリ、コレ半ハ翰他ノ才性アルニ由ト雖、然トモ大要ハツノ忍耐勉強ナルニ由ルナリ、翰他剖屍ノ學ニ心ヲ潜ケルガ、ツノ剖開シテ聚貯セシ様式、二萬ノ大數ニ至リ、學士窩蘊コレヲ編次セシニ、十年餘ヲ歴タリ、翰他毎日天明ヨリ曉八時ニ至リ、マデハ、ツノ書室ニ在テ業ヲ勉メ、コレヲ畢テ後、或ハセシヨリダノ醫館ニ往キ、或ハ兵醫館ニ往キ、病人ヲ視察レ、或ハ講説ヲ爲シ、生徒ヲシテコレヲ聽シメ、或ハツノ家ノ剖屍學校ニ臨ミ、又ツノ暇ニハ、學術有用ノ書各種ヲ著セリ、カクノ如キ許多ノ事業ヲ爲シ、ニハ、許多ノ光陰ヲ覓出ザルヲ得ズ、故ニツノ睡眠ノ度、夜中四時、晝飯後一時、合テ五時ニ

過ズ、嘗テ人アリテ、翰他ニ何等ノ方法ヲ用テ事業ヲ成就シ、至ヒシヤト問ケレバ、翰他答テ、吾規則ハ事ヲ始ル前ニ、子細ニツノ行ルベキヤ否ヲ思量スルナリ、故ニ行ルベカラズト思フハ、コレヲ爲シテ試ス、モシ行ルベシト思フハ、縦ヒ何ホド辛苦ヲ積トモ、コレヲ成就センコトヲ期セリ、シカシテ、一タビ始メ、タランニハ、ツノ事結局ニ做ラマデハ、決シテ中止セズ、蓋シ吾志業ヲ遂ルコトヲ得タリシハ、コノ規則ニ頼タルナリト言シトナリ、

(天)翰他物ノ定タル情形ヲ忽ニセズシテコレヲ熟察セシ事

翰他ハ物質ニ屬スル一定ノ情形ヲ察スルコトニ、許多ノ光陰ヲ費シテ惜ザル人ナリ、翰他ノ時ヨリ以前ハ、コレ等ノ

事ハ世人ミナ緊要ナラヌ事ト思リ然レ翰他深ク其心ニ  
 印證シテ物ハ實在ハ情形ヲ精確ニ考察スルハ緊要ニシ  
 テ益アルハ事ナリト思リサレバ脉管ヲ研究スルガ如キ  
 モソノ自然ノ情勢如何又ソノ張大ナル時ハ如何ト精密  
 ニ察識セリ故ニ脉管腫脹ノ症ヲ患ルモノアリケレバ大  
 脉管ヲ綁紮シテ病者救ハルトヲ得タリ抑モ昔ヨリ外科  
 醫未カクノ如クヲ爲ザリシニ翰他カ、ル大胆ナルトヲ  
 能セルハ平生考察ノ明ナルニ由ルナリ翰他ハソノ得ル  
 トコロヲ他人ニ表襮スルトヲ欲セス故ニ當時ノ人コレ  
 ヲ讚美スルモノ少カリシナリ然レ翰他ハソノ他真成ニ  
 勉強スル人ノ如クソノ爲トコロ獨リ自己ノ良心ニ慚ハ  
 ントヲ求ルノミ蓋シ正人君子ハ當然ハ分ヲ盡シ正經

*Ambrose Pare.*

ハ業ヲ務ルハモハハミナ稱許ヲ他人ニ求ズシテ稱許ヲ吾  
 本心ニ得ントヲ求ルモハナリ

巴禮ノ事

法国外科醫ノ大家安伯羅士巴禮ハ細心ニ事物ヲ觀察シ  
 堅忍ニシテ工夫ヲ用ヒ勇毅ニシテ撻ザル人ナリ一千五  
 百九年永正麻尼ニ生ル剃頭工ノ子ナリ偶然ノ事ヨリシ  
 テ外科醫トナラント欲シ剃頭業ヲ爲ル間ニ剖屍ノ術ヲ  
 學ケルガ其技大ニ長進セシカバ大將門的模連西ノ軍隊  
 中ノ醫官ニ命ゼラルコノ時世ニ至マデハ創傷ヲ受ケレ人  
 外科醫ノ爲ニ生命ヲ喪下敵ノ鋒又ヨリモ多クケリ蓋シ  
 銃創ヨリ出ル血ヲ止ルニハ熬煎スル油ヲ以テ包裹ノ功  
 ヲ施シ其他流血ヲ止ルニハ烙鐵ヲ以テ創癢ヲ灸ルマタ



肢体ヲ割去トキハ、燒テ紅色トナレル小刀ヲ用テコレヲ  
 爲リ、巴禮モ始ハ舊法ニ從テ創痕ノ人ヲ療シケルガ、一日  
 油ヲ煎テ十分ナラズシテ、柔軟ノ作用ヲナシタリ、偶治功  
 ヲ誤レ故、終夜大ニ恐懼セシガ、明朝ニ至テ視レバ、ソノ病  
 者甚ダ快安ナリ、ソノ尋常ノ法ニ從テ治功ヲ施セシモノ  
 ハ、却テ苦痛ニ惱タリ、コレヨリ巴禮銃創ヲ治スルニ柔軟  
 ノ法ヲ用ヒ、又流血ヲ止ルニ脈管ヲ縛紮シテ烙鐵ヲ用ザ  
 リケリ、コレ等非常ノ改變ヲ爲タレバ、舊法ヲ守ル醫家ヨ  
 リ大ニ誹謗ヲ受タリ、然レ治ヲ乞モノ愈多ク、聲名益顯レ、  
 三年ノ後、遂ニ命ゼラレテ、王ノ外醫トナレリ、士班牙ノ兵、  
 墨子ヲ圍レトキ、法國ノ城兵、創痕ヲ被ルモノ甚多ク、コレ  
 ニ加ルニ、外科醫少シテ又拙ニ由リ、コレガ爲ニ死スルモ

ノ、敵兵ニ死スルヨリモ多カリケレハ、普斯ノ公、城兵ノ王  
 ニ書ヲ贈リ、巴禮ノ来ラント望リ、巴禮ハ勇剛ナル人ナレ  
 バ、直ニ起行シ、許多ノ危難ヲ凌ギ、敵兵ノ中ヲ過テ、墨子ニ  
 達シケレバ、普斯ノ公ヲ始トシテ、將領加比丹皆歡迎ス、就  
 中兵卒コレヲ聞テ、吾輩今日ヨリハ傷痕ノ爲ニ死スル怖  
 ナカルベシト互ニ語りケリ、明年撤倍ノ公、黒士達ヲ陷レ  
 シトキ、巴禮囚タリシガ、敵ノ長官ノ深キ金創ヲ療治シ、ユ  
 レヲ愈シケレバ、贖金ナク赦レテ、巴禮ニ歸リケリ、  
 コレヨリ後、巴禮身ヲ終マテ、學問自修ノ功、慈惠善良ノ事  
 ヲ以テ、歲月ヲ送リ、同時ノ學者ニ勸ラレ、平生醫療スル實  
 驗ヲ筆録シ、書二十八卷ヲ著シ、ソノ中ニ許多ノ實事醫案  
 ヲ載ヒ、又空理ノミニシテ、事證ナキモノヲ指示シ、療法ノ



Harvey

謹避ベキモノヲ記セリ。巴禮ハ波羅特士但教ノ信士ナレ  
 凡久ク王ノ外科醫ト爲テ給事セリ。仙巴多羅買ノ夜巴禮  
 ハ查爾斯第九ノ眷愛ヲ得タルニ由テ。獨リ屠殺ノ禍ヲ免  
 タリ。コレ查爾斯嘗テ拙醫ノ刺絡セシヨリ創傷ヲ受ケ。殆  
 ト危シクバ禮救タリシユエトイフ。伯蘭的墨ノメモアイルス  
 名書ニ巴多羅買屠殺ノ夜王ノ巴禮ヲ救シテヲ記セリ。曰。王  
 人ヲシテ巴禮ヲ引來シメ。王ノ内房ニ居シメ。終夜出テ勿  
 ト命シタリ。王ノ言ニ衆人ノ生ヲ救テ。ソノ身殺害ヲ受テ。  
 理ニ於テ有マシキコナリト言レケリ。巴禮コノ夜ノ慘禍  
 ヲ免レ後。久ク生存シ。榮名ヲ享テ。天年ヲ終タリ。  
 ① 厚倍血ノ運行ヲ發明セシ事  
 厚倍ハ勉強シテ倦ザル人ナリ。血ノ運行スルコトヲ考覈シ。

厚倍英國  
 入天正六  
 年生明曆  
 三年歿

Dr. Jenner

日氏英國  
 入文政六  
 年歿

一書ヲ著セシガ。八年ノ星霜ヲ費セリ。其説明白確當ナリ  
 ト雖也。世人コレヲ信ズルモノナク。且顛狂欺騙ノ人ト稱  
 セラレタリ。厚倍ハ古人ノ定案ヲ疑ヒ。一家ノ新見ヲ立タ  
 レバ。經典ヲ反覆シ。教法ヲ亂リ。風俗ヲ破ルト。時人ニ譏レ  
 ケリ。故ニ其説行ザルノミナラス。一人ノ朋友モアラザル  
 ニ至リ。然レ。真確ハ説。次第ニ世ニ信ゼラレ。二十五年ノ後  
 ニ及テ。厚倍一家ノ見。遂ニ闔國ノ定論トハナリニケリ。  
 ① 日納爾牛痘ヲ發明セシ事  
 醫家日納爾牛痘ヲ種ヘ。疱瘡ヲ防テ發明セシガ。其説行  
 ル。マデハ。多少ノ障礙ニ逢ケリ。日納爾ハ。哥羅斯德社ノ  
 人ナリ。日納爾ヨリ以前ニ。コノ地ノ牛乳ヲ絞ル女伴ノ中  
 ニ。流傳スル説アリテ。牛痘ノ事ヲ見聞スルモノ寡カラズ。

然<sup>レ</sup>疔<sup>レ</sup>瑣々タル流俗ノ説ト侮<sup>リ</sup>テコレヲ查察スルモノ一人  
 モナカリケリ。日<sup>ビ</sup>氏<sup>シ</sup>少年ノ時、瑣<sup>ツ</sup>德<sup>ト</sup>拔<sup>バ</sup>禮<sup>レ</sup>ノ外科醫ノ徒弟ト  
 ナリシ時、一<sup>ク</sup>村女アリ、其師ノ家ニ來リ、ツノ疾ヲ診視ス  
 ル<sup>コト</sup>ヲ求ム、コレハ疱瘡ナリト言ケレバ、村女荅<sup>テ</sup>予<sup>コノ</sup>  
 疾ヲ得ル<sup>コト</sup>アルベカラス。何<sup>ニ</sup>トナレバ予嘗テ牛痘ヲ受  
 タリト云ケリ。日<sup>ビ</sup>納<sup>ル</sup>爾<sup>ル</sup>コレヲ聞テ、忽チ思フニハ、コレヲ用  
 タラバ、疱瘡ノ防<sup>ギ</sup>トナルベシト、因<sup>リ</sup>テコノ事ヲ究察セント  
 思<sup>ヒ</sup>起シ、一日コレヲ其朋友ニ語ケレハ、大ニ嘲笑セラレ、且  
 カクノ如キ説ヲ固執セバ、ソノ社中ヲ逐<sup>ヒ</sup>出スベシト嚇<sup>カ</sup>  
 レタリ。其後倫敦ニ至リ、幸ニ戒<sup>ガ</sup>翰<sup>ハ</sup>他<sup>ノ</sup>弟子トナル<sup>コト</sup>ヲ得  
 テ、ツノ牛痘ノ説ヲ語ケレバ、ユノ解剖ノ大家ノ言大ニ尋  
 常ノ外ニ踰<sup>ヒ</sup>タリ、曰<sup>ク</sup>徒<sup>ニ</sup>思<sup>フ</sup>ナクシテ、實<sup>ニ</sup>コレヲ試<sup>ム</sup>ヨク

ニ耐<sup>ビ</sup>シ。又精細ナル<sup>コト</sup>ヲ要ストゾ答タル日納爾コレニ  
 由<sup>リ</sup>テ勇氣益々奮ヒ、遂ニユノ事ヲ講求センガ爲ニ、故郷ニ  
 歸リ、二十年ノ間、經驗ノ功ヲ積リ、既ニシテ日納爾牛痘ヲ  
 種<sup>ル</sup>ル<sup>コト</sup>ノ益ヲ確然トシテ疑<sup>ガ</sup>サルニ至<sup>リ</sup>ケレバ、先<sup>ニ</sup>已<sup>ガ</sup>子ニ  
 牛痘ヲ種<sup>シ</sup>テ、其後書ヲ著<sup>シ</sup>テ、牛痘ヲ種<sup>ル</sup>タル人、疱瘡流行  
 スル時傳<sup>ハ</sup>深<sup>ク</sup>ヲ受<sup>ケ</sup>ガル二十三案ヲ載<sup>シ</sup>タリ、一千七百九十八  
 年<sup>寛政</sup>ニ始<sup>メ</sup>テ頒行ス。然<sup>レ</sup>トモ日<sup>ビ</sup>納<sup>ル</sup>爾<sup>ル</sup>ノ定説ヲ立<sup>テ</sup>シハ、コレ  
 ニ先<sup>ニ</sup>丁<sup>ニ</sup>二十三年、即一千七百十五年<sup>安永</sup>ノ事ナリシトナ  
 リ。  
 其後コノ發明ノ事、始ハ世ニ藐<sup>シ</sup>忽<sup>シ</sup>ニセラレ、後ニハ讐敵ヲ  
 以<sup>テ</sup>待セラル。日<sup>ビ</sup>納<sup>ル</sup>爾<sup>ル</sup>倫敦ニ赴<sup>キ</sup>、牛痘ノ法ヲ傳<sup>ハ</sup>ントセシ  
 ガ、醫者一人モコレヲ試<sup>ム</sup>ミント欲スルモノナケレバ、凡<sup>ソ</sup>

三箇月待<sup>レ</sup>後空クソノ郷ニ歸ル。コノ時世人ノ説ニ日納<sup>ル</sup>爾カクノ如キ事ヲ開キ人類ヲシテ牛ノ乳袋ノ病質ヲ受シメ人獸別ナカラシメント欲スト嘲<sup>ケ</sup>リ罵<sup>リ</sup>タリ又教師ノ講説ニ牛痘ヲ種ル<sup>ト</sup>ハ妖術ナリト公告セリ又世人ノ説ニ種痘シタル小兒ハ牛ノ面ニ次第ニ似ルト又説ニソノ瘡ハ牛角ヲ生ズル<sup>ト</sup>ノ徵候ナリト又説ニソノ小兒ノ聲ハ牛ノ吼<sup>ル</sup>聲ニ似ルト云テコレヲ嫌ヒ惡ケリ然<sup>レ</sup>種痘ノ事ハ元來真益トナル<sup>ト</sup>ナレバカクハ如キ猛烈ハ試毀アル中ニモ次第ニコレヲ信スルモノ出來リ嘗テ村ノ紳士其子ニ牛痘ヲ種タレバ其子門外ニ出ル時ハ村中人コレニ石ヲ投<sup>ジ</sup>室中ニ追入<sup>レ</sup>タリシトナリ大家ノ婦人ダ<sup>レ</sup>及ビ伯爵ノ夫人バークリイソノ兒子輩ヲシテ種痘ヲ

受シメタリコレヨリシテソノ新發明ノ事盛ニ行ハルベク見エケレバ狡<sup>カ</sup>獺ノ醫者マタ日納<sup>ル</sup>爾ノ功ヲ奪<sup>ハ</sup>ント欲シ自<sup>ラ</sup>發明シタリト訟<sup>ル</sup>モノ數人アリケルガ日納<sup>ル</sup>爾ノ案件終ニ勝<sup>ヲ</sup>得テ普ク時人ニ崇重セラレニ至<sup>リ</sup>日納<sup>ル</sup>爾ハ天性謙虛ニシテ隱顯トモニ節ヲ改<sup>メ</sup>ザル人ナリ倫<sup>ル</sup>墩ニ來住シナバ一年一萬金凡<sup>ソ</sup>我邦三萬五<sup>ヲ</sup>得ベシトテコレヲ招クモノアリケレバ日納<sup>ル</sup>爾答テ曰ク否吾生ハ晨早ニ於テ少年我遠僻卑下ハ路程ヲ行<sup>カ</sup>トヲ求<sup>ム</sup>ハ幽谷ヲ欲シテ高山ヲ欲セザリ<sup>ト</sup>然<sup>ル</sup>ニ今ヤ吾生ハ暮景ニ及<sup>ヒ</sup>テ吾身ヲ提起<sup>シ</sup>テ名利ヲ求<sup>ム</sup>ルハ具トスルハ適當セ又<sup>ト</sup>ナリト答<sup>シ</sup>トゾ日納<sup>ル</sup>爾ソノ生時ニ及<sup>テ</sup>文明ノ諸邦ニ牛痘ノ行<sup>ル</sup>ヲ見又ソノ死スル時恩惠ノ主トイヘル號ヲ

Sir Charles Bell.

遠近ヨリ得タリ。古未耶曰。牛痘ヲ傳ル。ハ。特ニ今時ノ發  
 明ト雖モ。ソノ惠澤永世無疆ニ及ベシ。然レ。日納爾ワグネルヲ  
 學士集ノ門戸ヲ二十度空ク叩タリキ。發明ナル大裨益アル  
 名ノ學士ノ會社ニ排擯セ  
 ラル。白爾ベル神經ノ事ヲ研究スル事  
 查爾斯ス白爾ベル神經ノ部ニ關係スル新發明ヲ爲タリシガツ  
 ノ堅定ノ志。忍耐ノ力。マタ日氏ヒンデルニ譲ザリケリ。是時ニ當テ  
 世ニ行ル。神經ノ功用ヲ論ズル說。甚ダ混淆シテ分曉ナ  
 ラズ。三千年ノ前デモクリテユスアナキサゴラスノ時ニ比スレバ。少  
 ク進ルノミナリ。白爾ベル詳慎精密ニコノ一項ヲ究察シ。屢々  
 經驗ノ功ヲ積ミ。久シテ一書ヲ著シ。一千八百二十一年文政  
 年四コレヲ世ニ公ニセリ。蓋賤キ獸類ノ神經ト雖モ。コレヲ

忽ニヒズ。勉強シテ講明シケレハ。萬物ノ主ナル人ノ神經  
 ヲ講究スル一助トナレリ。其說ニ曰。脊髓ノ神經ハ。ソノ職  
 分ニ於テニアリテ。二箇ノ根ニヨリテ發セリ。心志ハ。ソノ  
 一。根ヨリ傳送シ。感覺ハ。ソノ一。根ヨリ傳送ス。白爾ベルコノ事  
 ヲ五十年ノ間思量シケルガ。遂ニ一千八百四十年天保十  
 ヲノ最後定タル說ヲ書シテ。ローヤルソサイテイ學士集ニ出シ  
 ケリ。然ニ厚倍ベ日納爾ワグネルノ如ク。始ハ大ニ誹笑セラレシガツ  
 ノ說ノ真ナルヲ知ニ及テ。發明ノ功ヲ擽ソリント欲スルモノ。  
 英國并ニ他邦ニ衆カリケリ。白爾ベルコレニ由テ。書ヲ著シ。ソ  
 ノ發明ヲ為シ。次第ヲ子細ニ録記シ。ソノ聲名ヲ保タン。ソ  
 ノ務シカバ。久シテ後白爾ベルノ大功。遂ニ一世ニ照認セラレ  
 ケリ。古未耶病テ死セントスル時。ソノ面ノ孿縮シテ一方

Dr. Marshall Hall.

ニ牽ル、ヲ指サシ、侍者ニ示シテ、白爾ノ理論ノ正トハ、コ  
ノ徴候ヲ見テ知ベシト云ヒシトゾ。

荷爾神經病ノツノ根ヲ肢體ヨリ發スルモノヲ發  
明スル事

醫師馬緒爾荷爾ハ、マタ厚倍翰他日納爾、白爾ト肩ヲ比ル  
モノナリ、一生ノ間、能事物ヲ詳ニ觀察スルヲ務トス、故  
ニ瑣小ナル事ト雖、モソノ着眼ニ漏ル、コナシ、神經病ノ  
肢體ヨリ根ヲ發スルモノヲ發明シテ、學士家ノ爲ニ重ゼ  
ラレシガ、始テコ、ニ著眼セシハ、甚ダ平凡ノ事ヨリ起リ、  
嘗テ螺ノ氣ノ運行ヲ查究セシトキ、其頭ヲ斬タルモノヲ  
案上ニ置キ、サテ其尾ヲ分タレトシ、偶ソノ皮ヲ突刺タレ  
バ、螺カヲ出シテ動出シ、種々ノ形ニ伸縮セリ、荷爾怪シオ

\* Sir William Herschel.

モヘラク、神經ニ感觸セズシテ、カクノ如ク運動スルハ、何

故ゾト、コノ時ヨリ此理ヲ窺ント志タリ、抑モ、頭ヲ斬タル  
モノ、動轉ヲ做ハ、人ノ屢見ルトコロナリ、然ニコノ理ヲ  
究察セシハ、荷爾ヲ以テ始トス、一生ノ間、二萬五千時方程  
ハ、コノ經驗ニ工夫ヲ費タリトゾ、然モ、荷爾コノ發明ノ事  
ヲ筆録シ、ローヤルソサイテイ學士集ニ出シ、時ハ、猶學士家ニ非  
テセラレシガ、其後十七年ノ星霜ヲ歷テ、其說始テ英國及  
他邦ノ學士家ニ許可セララル、ニ至リ、

荷爾新行星ヲ始テ看出ス事

維廉黑爾舌ハ、上ニ云ル數人ト學術異ナリト雖、モ、同ク忍  
耐ノカヲ顯セル人ナリ、其父ハ、日耳曼ノ樂工ニシテ、甚ダ  
貧ク、子四人アリテ、皆ソノ業ヲ爲リ、維廉生計ヲ覓ンガ爲

黑氏寬延  
三年生嘉  
永元年歿  
九十八歲

ニ英國ニ來リ。軍隊ニ入り。ヲボウ類ノヲ吹職ヲ爲セリ。ソノ軍隊同加斯德ニアリケルガ。學士彌爾列爾偶黑爾舌ノ絃弓ヲ彈スルヲ聽ニ。妙絶イハニカタナカリケレバ。コレト談話シテ益コレヲ悦ビテ。己ノ家ニ寓宿センコトヲ勸タリ。黑爾舌コレニ從ヒ。衆人奏樂ノ時ニハ。絃弓ヲ彈シ。暇時ニハ。彌爾列爾ノ書籍ヲ披閱シ。進益ヲ得シトナリ。既ニシテ黑爾舌天學ニ於テ。近ゴロ新發明ノ事アリシヲ聞テ。甚ダ珍シキコトニ思ヒ。コノ事ヲ考究セント志シ。一友ヨリ二尺ノ遠鏡ヲ借ケルガ。深クノ學ニ耽ヨリシテ。遠鏡ヲ買シ。ト思ヒ。倫敦ノ街ヲ探リタルニ。其價甚ダ高シテ買ガタケレバ。遂ニ自ラコレヲ造ラント思ヒ起セリ。抑モ遠鏡ヲ作ルニハ。中凹タル金ノ鏡ヲ要スルコトニテ。コレヲ製スルコト最モ難

シトス。然ニ黑爾舌久ク辛苦シテ燃心五尺ノ遠鏡ヲ造テ

成就シケレバ。コレヲ以テ土星ノ環トソノ衛星ヲ察測スルコトヲ得タリ。ナホモコレヲ以テ自ラ足リトセズ。又燃心七尺ノ遠鏡ヲ造ケルガ。コレヲ成就スルマデニ。金鏡二百ヲ作リ。後方ニ意ニ中タルモノヲ得タリシトナリ。ソノ勉強忍耐真ニ驚ベシ。コレ等ノ測器ヲ以テ。天象ヲ觀察スル間ニ。パムフルム室奏樂ニ來ル客アレバ。コレガ爲ニ笛ヲ吹テ衣食ノ業ヲ營ム。然レ黑爾舌熱心ニ天學ヲ好ミ。ソノ樂ヲ作ル間。少ハ暇隙ヲ偷ミ。房内ニ入りテ。遠鏡ヲ持シ。又還テ笛ヲ弄ス。カクノ如ク工夫ヲ積ケルガ。遂ニチフルテム。サイダス英王若爾日ト名ラル。星即於拉納士ト云ル行星ヲ始テ第三ノ星ノ軌道及ビ動轉ノ遲速ヲ精ク測度シテ

William Smith

ローヤルソサイテイ會院ニ送リケレバ、ヲボウヲ吹ケル賤キ樂工。一旦大名ヲ發レ、時人ヲ驚シケリ。幾何モナク、アストロノメルローヤル天學者ニ命セラレ、若爾日第三ノ恩遇ヲ受タリ。ソノ人トナリ、温和謙讓ニシテ、顯達ハ後ト雖モ卑賤ハ時ニ異ナルトナシ、誠ニカクノ如ク、溫柔ニシテシカモ忍耐ノカアリ、至難ノ事ニ勝テ卓絶ノ功ヲ成シタル人ハ、古人傳記中ニ比類多ラス。

⑤ 維廉斯密士察地學ニ長ズル事

英國察地學ノ母ト云ル稱ヲ得タル維廉斯密士ハ、勉強忍耐ノ力ヲ顯シ、機會ニ乘ジテ、事ヲ務ル人ナリ。一千七百六十九年、明和ニ生ル。阿斯福子ヨルチヒルノ農家ノ子ナリ。小兒ノ時、其父死シ、其母再嫁シテツノ亞父ニ養ル。長スルニ

及テ、近地ニ遊歩シ、石ノ奇珍ナルモノヲ集ルヲ好ケリ。

斯密士少年ノ時ヨリ物ヲ觀察スルト、精密ニシテ、徹底セリ。測量ノ術ヲ學ケルガ、其業大ニ進ミ、測量官ノ輔手トナリテ、阿斯福及鄰近ノ省府ニ行旅シ、ソノ經過スルトコロニ從ヒ、種々ノ土、自然ニ相層ルモノヲ審ニ查察セリ。又命ゼラレテ處々ノ煤山ヲ測量シ、大ニソノ經驗ノ助トナレリ。僅ニ二十三歳ニ及テ、地ノ層級ヲ顯ス圖ヲ作シ、之ヲ企タリ。

斯密士格羅斯得ニ於テ、地ヲ平ニシ、水道ヲ作ル時、コノ地、煤炭ノ上ニアル土ノ層級ハ、平ナラズシテ東方ニ向テ傾キ下リト言ケルガ、其後果シテ深谷ノ兩崖ニ於テ、ソノ傾ウインド、ライアス、フリーストウン、即チライイト、類ノ名、次第ニ東方ニ向

テ低ク地下ニ沈タルヲ觀タリ。其後英國威爾士ノ水道ヲ  
 掌理スルノ官ニ任ゼラレシカバ、益ソノ經過スルトコロ  
 ノ地ノ體質ヲ查察シ、頃刻モ徒ニ過スヲナレ、サレバ輕車  
 ニ乘リ、路ヲ行ニ、五里或ハ十五里モ隔タル山ヲ見テ、ソノ  
 性質絡脈ヲ審ニ知、ノ如シ。ヲ得タリ、ソノ察地學ニ精キヲカク  
 斯密士云種々ノ土、次第ニ相層ルモノ、即チ粘土粘土、砂砂、  
 ライムストウン粉粉ノ如キ、各種別ノ化石ヲ含有ス、コレヲ以テ  
 見ルトキハ、各種ノ土、昔ハ皆海底ニシテ、各ツノ時代ノ海  
 中ノ生類ヲ藏スルモノナルヲ知ルベシト、是說ハ前人  
 ノ未ダ言ザルモノナリ。  
 嘗テ罷士ニ於テ、カ查遜ノ小室ニ藏セル化石ノ類ヲ見タ

ル時、斯密士ノ化石ヲ地下層級ノ次序ニ循テ鋪陳シテ、

コノ石ハ藍色ノライアスノ中ニアリ、コレハ砂石ノ中ヨリ  
 出ヅ、コレハ漂布泥ヨリ出ヅ、コレハ罷士ノ屋石ヨリ出ヅ  
 ト言ケレバ、カ查遜深クツノ說ヲ信ジタリ、然レ當時ノ察  
 地學者ハ、斯密士ヲ知ラズシテ、彼ノ新進ノ測量者、ニ察地ニ察地  
 學ヲ唱ルトヤ、嗚呼ガマレキコトナリト言レトゾ、コレヲ要  
 スルニ、斯密士ノ心目、地皮ヲ穿テ、ソノ骨ヲ洞觀スル、燭  
 照シテ龜トスルガ如クナリ、又嘗テカ查遜ニ向テ、地下各  
 種ノ土、上層ヨリ數テ下層ニ至ルマデ、即チ白白、灰灰ヨリ下、  
 テ、煤煤ニ至ルマデ、二十三種ヲ舉タリ、コレニ繼テ、各種ノ  
 化石ノ由テ出トコロヲ述タリ、此說ハ一千八百一年享和年  
 ニ印行シ、廣ク國中ニ行ル。



其後斯密士英國愛蘭ノ遠地ニ旅遊シ。土地ノ性質ヲ察シ、  
 ツノ實驗スルトコロノモノヲ筆録セシガ。凡、一年ニ一萬  
 里以上ノ路ヲ行ケリ。カクシテ、數年ノ後、遂ニ一千八百十  
 四年文化ニ英國威爾士ウエイルズ地下層級ノ圖ヲ著ス。二十年間、勞  
 苦シテ已ザルノ菓實ナリト云リ。此圖ノ精確ニシテ有用  
 ナルヲハ、稱賛シ盡ガタシ。獨リ英國諸嶋後來地學ノ圖ノ  
 基礎トナルノミナラズ、全世界ノ地學ノ法則ヲ立タリ。一  
 人ノ力ヲ以テ、カクノ如キ大發明ヲ爲タルヲ、豈驚ベキ事  
 ナラズヤ。斯密士一千八百三十九年天保没セリ。論者贊シ  
 テ曰、今ヨリ後、察地學ニ於テ、斯密士ト肩ヲ比ベキ大發明  
 ヲ爲ス人、世ニ出ベシヤ否ヤ。真ニ其人ヲ見ザルウチハ、コ  
 ノ疑、解ガタシ。

斯密士瑣々タル小物ト雖モ、精密ニコレヲ觀察シ、夫シテ  
 忽ニセズ、新レキ實事ヲ集ムル機會アレバ、コレヲ拿住シ、  
 決シテ遺失スルコトナシ。常ニ紙筆ヲ携ヘ、自然ノ物、或ハ人  
 工ノ物ヲ圖寫シテ彩色ヲ加タリ。ソノ觀察ノ事ニ熟慣ス  
 ルコト次ニ載ル小話ニテモ知ベシ。斯密士嘗テタンステイルノ  
 白灰山ノ麓ニ於テ、畫ヲ寫シタル時、ソノ伴侶ニ向テ、コノ  
 山足ノ碎塊ノ中ニ、シヤーク鯊魚ノ齒アルベシト言ケレバ、  
 ソノ伴侶、コレヲ搜尋シタルニ、遠マデモ往サル中ニ、果シ  
 テ六ノ齒ヲ拾得タリシトナリ。斯密士曰、觀察ノ事ハ、吾慣  
 習トナリテ、吾心ニ住居ヲ占タリ。吾處々ニ行旅スルハ、コ  
 レヲ做ガ爲ナリ。予常ニ圖本ヲ備テ、出往キ、道上ニ於テ思  
 想スルコトアレバ、コレヲ記録セリ。蓋シ吾心ハ、画工ハ白布

ニ似タリソノ上ニ最初最善ノ覺感印記ヲ受ンガ為ニ善ク備設タルモノナリト云リ。

美 休彌爾列爾觀察ノオアル事

休彌爾列爾亦事物ヲ觀察スルノオアリテ。文藝學術ヲ熱心勉強スル人ナリ。ソノ著セル書ニ。マイ。スタイルス。エンド。マイ。マニス。吾ノ學校及ト曰ルモノアリ。自ソノ平生ノ事ヲ談話スルモ。ニシテ。甚ダ人ニ益アル書ナリ。蓋極卑極賤ノ地位ニ生テ。真貴真榮ノ品行ヲ崇シタル人ノヒストリー。史録ニシテ。自助。自自重。自倚頼スル。教訓ヲ懇切ニ人ニ告モノナリ。彌爾列爾小兒ノ時ニ。其父ハ水手ナリシガ。海ニ溺死シ。寡婦トナレル。其母ニ育ル。彌氏郷塾ニ於テ童子業ヲ學タレ。ソノ最善ハ師ハツハ偕ニ遊バトコロハ諸童子ナリ。マ

タソノ偕ニ勞作スルトコロハ人ナリ。マタソノ偕ニ住スルトコロノ朋友親戚ナリ。彌氏書ヲ讀テ多シテ且雜レリ。ソノ智見ヲ零々細々ニ各種各方ヨリ集タリ。或ハ傭工ヨリ。或ハ木工ヨリ。或ハ漁師ヨリ。或ハ水手ヨリ。拾ヒ聚ム。ソノ中ニモ。最モ古洛馬底ノ海岸ニ散布セル潮ニ齧タル古石ヨリ集タリ。又ソノ海賊ナリシ曾祖父ノ遺セシ大槌ヲ持シテ。石ヲ打削テミカ金星ポルフレイ紅斑ノガ子ト紅晶等ノ式様ヲ貯ルヲ務タリ。年長ズルニ及デ。ソノ好ル職業ヲ擇ビ。石匠ノ徒弟トナリテ。古洛馬底ノ採石礦ニアリテ。工事ヲ作ケルガ。コノ採石礦實ニ彌氏ノ為ニ最善ノ學校トナリタリ。譬バ礦ノ門戸。下ハ深赤石ニシテ。上ハ淺赤坭ナルガ如キ。彌氏一見シテ。コレニ着意セリ。スベテ他人ノ一

物ヲモ見ザル中ニ於テ彌氏ハ觀察スル物ヲ着出し相比  
較シ分別シテコレヲ思量セリ蓋彌氏常ニ眼目ヲ着ケ心  
思ヲ開<sub>イ</sub>テ務メ又ソノ行節儉ニシテ酒ヲ好マズ勤勉忍  
耐ナリソノ才智ノ生長スル所以ノ秘傳ハ特ニコレニ由  
ノミ彌氏好<sub>ミ</sub>テ魚類<sub>ニ</sub>蕨類<sub>ニ</sub>貝類<sub>ニ</sub>化石スルモノヲ集メ或ハ  
コレヲ海波ノ洗出ニ由テ得或ハソノ鋸ノ下ニ顯ルニ由  
テ得タリカクシテ多年ノ間觀察比較思量ノ功ヲ積タル  
ガ遂ニ其有名ナル書<sub>「リトルドレッドサンドストーン」</sub>ト云ルモノヲ  
著シ博識ナル察地學者ト世ニ稱セラレタリ實ニ此書ハ  
多年忍耐シテ觀察搜求スルモノノ結ル莫實ナリ彌氏自  
ラ傳ヲ作<sub>リ</sub>テ曰余コノ學ニ於テ志トコロヲ達セシハ特ニ  
堅忍耐久ノ功ニ頼リ誰ニテモ堅忍耐久ニ由テ我ニ及<sub>ベ</sub>

ク又我ニ超過スベキナリソノ堅忍耐久ハ鈍下ナル才質  
ヲシテ卓絶ノ事業ヲ成シ英才ノ人ニ化セシムルモノナ  
リト云リ

斯邁爾斯自助論第五編終

明治四年辛未九月

東京芝神明前

和泉屋市兵衛

同所

岡田屋嘉七

同淺草茅町貳丁目

須原屋伊八

同傳通院前

鴈金屋清吉

同大傳馬町三丁目

袋屋龜次郎

西京寺町四條上ル

田中次兵衛

大坂心齋橋通北久太郎町

河内屋喜兵衛

同心齋橋北貳丁目

秋田屋太右衛門

静岡江川町

本屋市藏

書

肆